

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	I 理念に基づく運営 1. 理念の共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設当初よりあった。理念見直し地域との関係を折り込んだ内容の理念を管理者、職員と話し合い作り上げた	○	今までと同様に取り組んでいきたい
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念はスタッフルームに掲示して誰でも目に付き確認できるようになっている 職員は毎日出勤時に唱和を行い、利用者がその人らしい生活が送れるように心がけ、より良い関係の構築に努めている。	○	今までと同様に取り組んでいきたい
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	スタッフルームの理念は運営推進会議において出席者である家族や地域の方々に説明し理解してもらえる様に取り組んでいる。また、夏祭りの時などに部署紹介で理念を伝えている	○	今までと同様に取り組んでいきたい
	2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	併設の事業でもあるデイサービスの利用者や支援ハウス居住の方々が、いつでもグループホームまで来て頂いている、また、日課である散歩等では隣近所の方々と気軽に挨拶をし、日常的な付き合いができるよう努めている	○	今までと同様に取り組んでいきたい
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会の加入は無いが地域の行事(小中学校の運動会、文化祭)やお祭りに参加し、交流を深めている、また、台風時には避難場所としてグループホームを開放し送迎、食事も提供するなど地域との交流を大切にしている	○	今までと同様に取り組んでいきたい
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	事業所主催のゲートボール大会や文化祭に参加している。本年度は敬老週間において地域の老人クラブの方と婦人会の方を招待し交流を図る計画を立てている	○	今までと同様に取り組んでいきたい

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいる項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価面では気付きにくい事柄を外部からの評価にて知ること、より良い改善に繋がるよう、できることから少しずつ取り組んでいる	○	今までと同様に取り組んでいきたい
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二ヶ月に1回行っており出席者は市の担当者、地域からは老人会、区長、民生委員等であり、他は全家族へ案内し出席されてある。利用者、法人関係者、職員等同席にて活発な意見交換があり地域の情報交換の場になっている。	○	テーマは年度当初職員からの発案にて決定し6回とも全て違う。 職員の介護に関する思いの発表はシリーズ化し、毎回違う職員で対応している。利用者・職員双方の思いを話す事でサービス向上に活かす一助となればと思う。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議の他にも何か問題が生じたり疑問点があった場合は相談している併設施設内の在宅サポート支援センターとも情報を共有し市と関わっている	○	今までと同じように取り組んでいきたい
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	朝倉介護事業者協議会でのセミナーにも出席し内部でも掲示し職員への周知を図っている。パンフレットを玄関横に準備し必要があれば説明出来る様にしている。施設研修会でも学び、取り組んでいる。	○	今後全員に取り組む様にする。
11	○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ホーム内研修にて虐待について学び、虐待につながらない対応を心掛けている。朝倉介護事業者協議会による、スタッフセミナーに積極的に参加している。また併設施設合同研修会等でも学ぶ機会があり、防止に努めている。	○	今までと同じように取り組んでいきたい
	4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結の際、利用者や家族に、不明・疑問点を伺い、十分な説明を行っている。	○	今までと同じように取り組んでいきたい

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議にて伺っている。在宅施設会議にて、苦情要望を公表し対策を検討している。	○	計画担当者のモニタリング時にもっともっと利用者の思いを取り上げようと思う。併設の施設と同じようにグループホーム内にも意見箱を設置したいと思う
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	居宅療養管理指導後は家族へ電話で報告している。健康状態については、随時報告、面会の少ない家族に対しては、個々の面会簿(ふれあい通信)を活用している。金銭管理については利用料と共に報告し、徴収の形をとっている	○	今までと同じように取り組んでいきたい
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情や意見が地域や他部署から寄せられると施設在宅会議でオープン化し、その場で解決できるよう取り組んでいる。	○	今までと同じように取り組んでいきたい
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎年2月には翌年度の事業計画を職員達で作るようにしている。月に一度職員との面談を行なうようにしているが全員との面談はできていない。また運営者の面談は年2回行っており意見・要望が言える場を作っている	○	月に一度は全職員と面談ができるようにしたい
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	管理者勤務の日が設けられている為、利用者の状況変化にも比較的柔軟に対応できている	○	今までと同じように取り組んでいきたい
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者との関わりはユニット間で相互にある為、ダメージを与えないように配慮している。離職者があった場合は管理者を含め1～2ヶ月程かけ引継ぎをしている、研修ノート等に情報を記録し全職員が利用者の把握をしている為ダメージは少ない、運営推進会議でも異動等であれば報告している	○	最大限の注意を払いながら、マンネリ化を防ぐために少し異動は図っていききたい
	5. 人材の育成と支援			
19	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	採用に関しては法人が行い、配属の希望を取っている、年齢・性別の条件はない。現在男性職員も3名在職している。職員の趣味・特技を活かし日頃の業務に発揮できるように配慮している、学習する機会もありスキルアップを図ることができる	○	今までと同じように取り組んでいきたい

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいる項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
20	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、利用者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	法人全体で研修会があり人権に関しての学習の機会を設けている、特に言葉遣いや目上の方に対する態度等、法人の方針があり職員は理解し日々のケアに心掛けている	○	今までと同じように取り組んでいきたい
21	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人全体で年間計画を立て部署毎に研修を実施しケアの改善等を話し合っている。勤務の都合上出席出来ない職員の為には資料を取りおき説明を行っている、また、外部の研修は必要に応じ積極的に参加出来るよう業務として取り扱い報告書を作成し全員に周知を図っている	○	今までと同じように取り組んでいきたい
22	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム部会に加入し研修会等にて他ホームとの情報交換を行っている。職員が交代で出席して各ホームの施設見学もあり交流できている	○	今までと同様に取り組んでいきたい
23	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	有給休暇をとり易いように1ヶ月前に10日間程有休申告の時期を設けている、2年に一度休暇にて海外や国内旅行の機会を設けている。管理者によるストレス軽減の為に面談を行い、心のケアを行っている	○	今までと同じように取り組んでいきたい
24	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の個々の努力や実績を自己チェック表に記入し毎月提出している、年2回の運営者との面談も活用されている	○	今までと同じように取り組んでいきたい
	Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談から利用までは家族主体でなされる事が多い、本人が困ってる事については、入所後に生活の中で話を聴きながら対応している。コミュニケーションが取れない方については表情や行動から読み取れるように把握しながら見いだしている	○	今までと同じように取り組んでいきたい
26	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所希望の連絡があった時から家族からの話を十分に聴く	○	今までと同じように取り組んでいきたい

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいる項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	計画作成担当者・管理者が家族・ご本人との面談にて何を希望されているのか聴き取り、どのサービスが適しているかを見極め説明している	○	今までと同じように取り組んでいきたい
28	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所希望者が入院している場合、計画作成担当者が入院先に出向き本人・家族から情報を聴き取っている、また、待機者へ電話にて会話をし情報収集しているが体験利用者等は受け入れ体制がなくホームで過ごし馴染むまでには至っていない。本人家族が面会にこられる。	○	今までと同じように取り組んでいきたい
	2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
29	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の昔の風習や慣わし四季折々の節目の行事を普段の生活に取り入れている、また、特技や趣味を引き出し日常生活に活かせるように支援している	○	今までと同じように取り組んでいきたい
30	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	良い事・悪い事をきちんと報告し本人を支える体制を取っている	○	今までと同じように取り組んでいきたい
31	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	生活される中で、家族の方に対する思い等、伺ったときには面会時細めに伝え、良い関係に向けた支援に努めている。	○	今までと同じように取り組んでいきたい
32	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	福祉バスに乗って馴染みの場所に出向いたり、併設事業の利用者とコミュニケーションをとったりしている。ホームの前に広がるパラ園や周辺の散歩は日課になっている。一人一人の状態に相違がある為、外出の頻度にはばらつきがある	○	今までと同じように取り組んでいきたい
33	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	合う合わないの関係もあり、日頃の利用者間の状況を細めに把握し、良い関係が継続できるよう支援している	○	今までと同じように取り組んでいきたい
34	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所された方に対しても家族からのいろんな面での質問等、また来園時には、今まで同様の対応に努めている	○	今までと同じように取り組んでいきたい

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1. 一人ひとりの把握			
35	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	”今の思い希望”をこちらの方から尋ねる様にしている、表情や仕草から意向を捉えていく。	○	寝たいとき、動きたい時、危険な場所を除きなるべく本人の意思に基づいて実行する
36	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族の方やご本人へ詳しく尋ね確認しておく	○	暮らし方シートを活用したい(センター方式)
37	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	本人の一日の様子を記録する事で、状態がわかるようにしている。いつもと違った様子が見られるときは、記録に残し、職員間で共有化を図っている。	○	今後も同様に取り組んでいきたい
	2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	月1回のカンファレンスを基に意見やアイデアを出し合い家族の意見も取り入れて計画を作成する。	○	今後も同様に取り組んでいきたい
39	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月、6ヶ月を目途に見直し、また月一回の研修会時には検討の時間をとっている。状態の変化に基づき再計画を作成している。計画担当者が必要に応じてカウンセリングをしている。	○	全利用者に月に一回程度取り組んでいきたい。
40	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人基本支援記録、日常生活記録をし、ケアプラン作成に活かしている	○	今後も同様に取り組んでいきたい

番号	項 目		○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
41	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、馴染み関係 を大切にしながら事業所の多機能性を活かした柔軟な支援 をしている	必要に応じて利用者の外出の支援や家族の宿 泊の受入れ、災害に備えての独居老人の避難 場所としてホームを開放している	○	今後も同様に取り組んでいきたい
	4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
42	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警 察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	月2回読み聞かせボランティアの受入れている。 年2回消防署立ち入りによる防火避難訓練(利 用者も参加)をしている。 小・中学生の学習体 験等の受け入れもしている。	○	今後も同様に取り組んでいきたい
43	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャー やサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するた めの支援をしている	朝倉市高齢者筋力トレーニング(パワーリハビ リ)を必要に応じて、本人の意向や家族の話し合 いにより試行している。	○	今後も同様に取り組んでいきたい
44	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期 的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと 協働している	運営推進会議を通し、家族・地域・民生委員・会 長・区長・地域センターの方たちと協働している	○	必要に応じて協働していきたい
45	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかり つけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	家族とは受診関係を密にし、支援を行っている。	○	今後も同様に取り組んでいきたい
46	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が 相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けら れるよう支援している	主治医・家族との連携を密にし、主治医からの 指導・指示をもらっている。	○	今後も同様に取り組んでいきたい
47	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に 相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしてい る	その日勤務の看護師と常に連絡、連携を取っ ている	○	今後も同様に取り組んでいきたい

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	家族からの情報や医療機関のソーシャルワーカーと直接面会したり、電話で情報を交換して、利用者が安心して生活できるよう連携をとる。	○	今後も同様に取り組んでいきたい
49	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約締結時に家族との要望をお聞きして、確認事項として残している。	○	今後は主治医に加わって頂き家族の要望があれば、考えていきたい。
50	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	日々の状況を詳しく家族やかかりつけ医師へ報告、終末が近くなると対応が困難のため、医療機関への入院もやむを得ない	○	今後も勉強をして、取り組めるようにしたい
51	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	利用者のADLや性格、得意とされてある物などを詳しく説明し、情報交換を行っている	○	今後も同様に取り組んでいきたい
	IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重			
52	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人一人の誇りやプライバシーを尊重し、言葉遣いはできる限り、標準語や尊敬語で対応し個人の情報管理の徹底を図っている。	○	今後も同様に取り組んでいきたい
53	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者の言葉の端々や利用者間の対話の中から、その人の思いを見いだすことに努め、個々の理解に合わせた言葉掛けにより支援を図っている。	○	今後も同様に取り組んでいきたい
54	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の状態に合わせた支援を行っている。 朝は新聞・TV観賞・プランターの水遣り・草花の手入れ・グループワーク(体操・園内散歩)参加。 夜は日記を書かれたり、TV観賞等、個々のペースに添っている	○	今後も同様に取り組んでいきたい

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	毎日整容の時間がきまっており、その時間で利用者に思い思いの化粧をしていただいている。理容は週一度理容店が来られるので、本人・家族が望まれるときはカットしてもらっている。又個人で決められた美容室の方は家族対応	○	今後も同様に取り組んでいきたい
56	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	毎食利用者と共に準備を行い、盛り付け・配膳・引き膳・食器洗い・米とぎ等個人のできる範囲で支援している、又食事アンケート調査も実施している。	○	今後も同様に取り組んでいきたい
57	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	10時、3時におやつの時間を設けて対応しているが、理解のある利用者に関しては、居室での嗜好品を管理していただき(職員も管理)ご本人の好みに添っている。	○	今後も同様に取り組んでいきたい
58	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人一人のパターンに合わせて、排泄誘導及び一部介助を行っている	○	今後も同様に取り組んでいきたい
59	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日・時間帯は決められているが、希望のある方は、毎日の入浴もある。利用者の希望に添い仲の良い利用者は、一緒に入浴、又、男性職員に対し入浴介助拒否のある女性利用者には、女性職員で対応している。	○	今後も同様に取り組んでいきたい
60	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人一人の生活習慣や状態に応じて、食堂のソファや和室で休まれたり、居室に戻って休まれたり、本人の思いのままに休まれる。危険防止の為に、細めな把握に努めている。	○	今後も同様に取り組んでいきたい
	(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
61	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	季節ごとの催しの作品作り、飾り付けを一緒に行いながら、季節感を感じて頂く。ベランダの水遣り、食事の準備、ビデオ鑑賞、散歩、縫い物等して頂く。	○	今後も同様に取り組んでいきたい

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
62	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	能力に応じて、所持している方もおられるが、家族の意向や認知の程度により所持されない場合が多い、情緒安定のために少額所持されてある方もおられる。		
63	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	個々の希望には添えないが、気候、天気の良い日には、園外散歩に行ったり、福祉バスを活用し外出。 家族による外出(車椅子貸与等)を支援している。		
64	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族との外出を支援。 福祉バスの活用により、外出や町の行事等に参加。 利用者が偏らないように、全ての利用者に出かける機会をつくっている。		
65	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の希望により支援している。 年賀状作成をご本人に声かけして、代筆したり、人によっては自分で何枚も書かれたりされる、ご返事も書かれるときは支援する	○	今後も同様に取り組んでいきたい
66	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	常時開放的に訪問して頂けるよう取り組んでいる。園での催しの夏祭り・演芸会・敬老週間等のお知らせをして、来園の声かけをしている。	○	今後も同様に取り組んでいきたい
	(4) 安心と安全を支える支援			
67	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用者の症状に合わせ興奮が静まるまで、待つようにしている。 状態が変わり混乱や、失敗が生じた時は、職員で話し合う。	○	今後も同様に取り組んでいきたい
68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	1室を除き居室は常時開放。(二階でありベランダを乗り越え、転落する危険性がある) 玄関については、帰宅願望の利用者が入り口付近で長時間待機される場合がある為、開放を中止している。		
69	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	目配り、気配りしながら、又センサーマットも併用して所在確認をしている。訪室する際は必ずノックを行い入室している。	○	今後も同様に取り組んでいきたい

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	入居時に全ての持ち物に名前を記入していただき、チェック表に記入し管理している。 危険性のあるものは家族に確認の上、一時預かり管理している。	○	今後も同様に取り組んでいきたい
71	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	危険に対する予測を察知することを心掛けている。 ナースコール・センサーマットを利用し把握に努め、薬の介助は、食介担当者が責任を持ち対応する。研修会にて、事故の対応等を学んでいる。	○	今後も同様に取り組んでいきたい
72	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	日中は、看護師に来てもらい、指示をもらう。夜間は緊急マニュアルに添って、管理者・上司へ報告、主治医等の指示を頂き対応する。	○	今後も同様に取り組んでいきたい
73	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけしている	毎晩、宿直者と夜勤者で防火避難訓練をしている。 定期的に併施設設合同での避難訓練を消防署にも協力を頂き行っている	○	今後も同様に取り組んでいきたい
74	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	一人一人の生活パターンに合せ自由に生活できるように支援、それに伴うリスクについては必要に応じて連絡を取り合っている	○	今後も同様に取り組んでいきたい
	(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
75	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	午前中に全員の検温と入浴前の三検を記録し異常がある時は連携をとり、その後の状態把握に努める。 状況により看護師・主治医の指示を頂く	○	今後も同様に取り組んでいきたい
76	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方された薬のお知らせはファイルに綴じ、異常の際は往診時ドクターに報告、また家族対応の受診の時は連絡し、主治医に報告していただく	○	今後も同様に取り組んでいきたい
77	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎日手作りヨーグルトを提供している。 園内の散歩、体操等に取り組んでいる。	○	今後も同様に取り組んでいきたい

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔ケアの声かけを行い、利用者に応じて洗面台まで誘導、一部介助、見守り、全介助等している。	○	今後も同様に取り組んでいきたい
79	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の状況に合わせ、食事を刻んだり、おにぎりにして食べ易くしたりもする。食量量はチェックを行い記録して、状態を把握している。夜間は必要な方にペットボトルにお茶を入れ、配り対応している	○	今後も同様に取り組んでいきたい
80	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	うがい、手洗いを励行。入り口には速乾性消毒剤を設置。8/24よりインフルエンザ対策として面会・外出自粛。	○	今後も同様に取り組んでいきたい
81	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日食材を業者に配達していただいている。調理器具は定期的に消毒をしている。	○	今後も同様に取り組んでいきたい
	2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり			
82	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	利用者の作品等、展示して見て頂けるよう、工夫をしている。入り口案内板等設置、ベンチ等を設置し寛げる工夫をしている。	○	今後も同様に取り組んでいきたい
83	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下にソファ設置、観葉植物・生け花等置き、和めるよう雰囲気作りをしている。ブラインドで日光の調整をしている。	○	今後も同様に取り組んでいきたい
84	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	掘りコタツのある和室があり、寝そべったりしながら、談笑ができる。誰でも利用できるソファを休憩ポイントに設置し、談笑できるスペースを作っている。	○	今後も同様に取り組んでいきたい
	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人や家族の意向を大切にしている。使いたれた好みの物品を活用している。	○	今後も同様に取り組んでいきたい

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
86	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎日居室掃除に訪室する際、利用者に合わせた、温度調節・換気を行っている。	○	今後も同様に取り組んでいきたい
	(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
87	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ベットより離床する際、居室内での転倒防止の為、センサーマット使用、ベット、トイレ間に安定感のある椅子を置き、捕まるところを確保し、転倒防止を図る。	○	今後も同様に取り組んでいきたい
88	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	個々の能力の状態に配慮しながら、プライドを傷つけないよう、食事作り、洗濯物干し、たたみを協力していただいている	○	今後も同様に取り組んでいきたい
89	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	グループワークに散歩を取り入れ、バラ園にバラを摘み、食堂や居室に飾ったり、プランターに植えたハーブでお茶を楽しんだりしている	○	今後も同様に取り組んでいきたい

番号	項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所に○印をつける)
v サービスの成果に関する項目		
90	○職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	《 ○ 》①ほぼ全ての利用者の 《 》②利用者の2／3くらいの 《 》③利用者の1／3くらいの 《 》④ほとんど掴んでいない
91	○利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	《 ○ 》①毎日ある 《 》②数日に1回程度ある 《 》③たまにある 《 》④ほとんどない
92	○利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	《 ○ 》①ほぼ全ての利用者が 《 》②利用者の2／3くらいが 《 》③利用者の1／3くらいが 《 》④ほとんどいない
93	○利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	《 ○ 》①ほぼ全ての利用者が 《 》②利用者の2／3くらいが 《 》③利用者の1／3くらいが 《 》④ほとんどいない
94	○利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	《 》①ほぼ全ての利用者が 《 》②利用者の2／3くらいが 《 ○ 》③利用者の1／3くらいが 《 》④ほとんどいない
95	○利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	《 ○ 》①ほぼ全ての利用者が 《 》②利用者の2／3くらいが 《 》③利用者の1／3くらいが 《 》④ほとんどいない

番号	項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
96	○利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	《 ○ 》①ほぼ全ての利用者が 《 》②利用者の2／3くらいが 《 》③利用者の1／3くらいが 《 》④ほとんどいない
97	○職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	《 ○ 》①ほぼ全ての家族と 《 》②家族の2／3くらいと 《 》③家族の1／3くらいと 《 》④ほとんどできていない
98	○通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	《 》①ほぼ毎日のように 《 ○ 》②数日に1回程度 《 》③たまに 《 》④ほとんどない
99	○運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	《 ○ 》①大いに増えている 《 》②少しずつ増えている 《 》③あまり増えていない 《 》④全くいない
100	○職員は、生き活きと働いている	《 ○ 》①ほぼ全ての職員が 《 》②職員の2／3くらいが 《 》③職員の1／3くらいが 《 》④ほとんどいない
101	○職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	《 ○ 》①ほぼ全ての利用者が 《 》②利用者の2／3くらいが 《 》③利用者の1／3くらいが 《 》④ほとんどいない
102	○職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	《 ○ 》①ほぼ全ての家族等が 《 》②家族等の2／3くらいが 《 》③家族等の1／3くらいが 《 》④ほとんどできていない